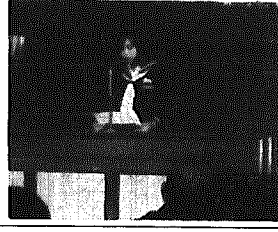


敬老の日にあたって

岩中三年一組

小川 裕美子



おじいさん、おばあさん
今日まで長寿を保たれ本当
にありがとうございます。

今日までの長い間には
「喜び」「悲しみ」また、
「喜び」「楽しかったこと」
など色々あったのではな
いかと想像しております。
また、平和な岩室を築い
てくださり、私達は、「御
苦労さまでした。本当にあ
りがとうございました。」
と感謝の気持ちでいっぱい
です。

家のおばあさんも七十三
才で私にはなくてはならな
いおばあさんです。
そこで私は次のようなお
ばあさんの苦勞話を聞か
せてもらいました。
「おじいさんに早く死な
れて、たくさんの子供達を

どうやって育てていたら
よいか……。でも、それ
は先祖の神様のおかげでこ
こまでやってこられたのだ
よ。そして、一番の希望は
子供や孫がばあちゃんのお
んどうを見てほしいという
ことと、人から信頼される
いい子になってほしいとい
うことだよ。」と優しくし
てくれました。

空のびて行くその松の木
の小枝一本一本を、今まで
苦勞しながらさまざま経
験にもとずいて、よいとし
ろをいかし悪い枝をおとし
美しい松の木の盆栽が出来
上がるのだと盆栽の全く知
らない私にもその程度のこ
とは理解できます。
美しく出来ることは、
人に愛され喜ばれることで
す。盆栽をかわいがり手入
をする真剣な姿は、私達に
空のびて行くその松の木
の小枝一本一本を、今まで
苦勞しながらさまざま経
験にもとずいて、よいとし
ろをいかし悪い枝をおとし
美しい松の木の盆栽が出来
上がるのだと盆栽の全く知
らない私にもその程度のこ
とは理解できます。
美しく出来ることは、
人に愛され喜ばれることで
す。盆栽をかわいがり手入
をする真剣な姿は、私達に

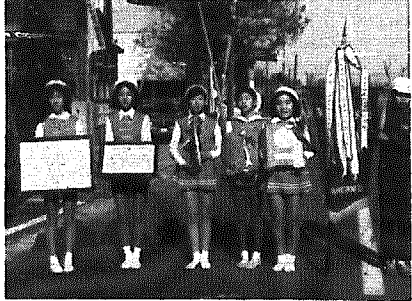
みましたら、「朝は一日の
初めとして、今日もケガ一
つせず元気で働くことがで
きよように……。また、私
達の健康のことも祈ってい
るんだよ。そして夜は一日
の終りとして、今日も一日
働かせてもらいありがとう
ございましたよ。」と教
えてくれました。
そこで私も、手をあわす
本当の意味がわかりかけて
人生に幾度か出会う危機的
体験であったろう。

ききました。要は感謝の気持
ちを忘れてはならないのだ
ということを知りました。
こんなことから、環境の
よりいっばな岩室村に生れ
た私達は感謝しなければな
らないと思っております。
私達も、おじいさん、お
ばあさんに負けないくらい
りっばな岩室村をきずきあ
げるまで一日でも多く長い
きして下さい。

いつまでも、いつまでも
長いきして下さい。
日本の平均寿命も、世界
各国に比較しておとらない
程のびてきました。
今までの御苦勞を「生活
の知意」として、生きた先
生として私共共い人におし
え戴きたいと思ひます。
現在、岩室の人口は、九〇
五〇人です。これからもう
んと長生きなさいいま
して高所より岩室村
を見守って戴きたい
と思ひます。
今日のお祝いし終りと
いたします。

和納小学校が全国特選 健康優良校に選ばれる

十一月二十二日、全国特
選健康優良校の祝賀パレー
であった。



ごらんください。この誇
りと自信と決意に満ちた子
ども達の顔、煌々しいまで
の美しさを感じる。この子
ども達の小さな胸中には、
昭和四十七年度から、先生
方や父母から賞られたり、
ハッパをかけられたり学
習、生活態度、体力づくり
に全力投球した。ある時は
朝マラソン、下水清掃、草
取りをした。特に二回遭遇
した実地審査の厳しきは、

やはり、現在を中心に過
去と将来の健康教育と、学
校を中心にした、家庭と地
域の健康教育の交差点が原
一位、全国特選の評価を受
けて、個人の力や一活動の
成果でもなく、また、その
力や活動を欠くことも出来
ない総合力のように思う。

滝沢校長の地論で
ある。「天の時、地
の理、人の和」であ
り、岩室村の教育水
準であり、文化水準
と自負している。
(和納小より)

